

HOTEL RESERVATION SYSTEM

Publication number: JP2002175457

Publication date: 2002-06-21

Inventor: MASUNO YOSHIAKI

Applicant: MASUNO YOSHIAKI

Classification:

- International: G06Q30/00; G06Q10/00; G06Q50/00; H04Q7/38;
G06Q30/00; G06Q10/00; G06Q50/00; H04Q7/38;
(IPC1-7): G06F17/60; H04Q7/38

- European:

Application number: JP20000403925 20001206

Priority number(s): JP20000403925 20001206

[Report a data error here](#)

Abstract of JP2002175457

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a reservation accepting system suitable for making a reservation for a hotel in emergency in an unfamiliar place. **SOLUTION:** In a hotel reservation system for making a reservation for a hotel 4 from a portable telephone 1 having a position recognizing function 5, a counter 2 for accepting reservation is allowed to recognize position information transmitted from the portable telephone, to recommend a hotel which is the nearest to the recognized position of the portable telephone, to bear the communication fee, to execute the electronic settlement of the hotel bill, and to transfer the reservation information to a telephone number designated by the portable telephone.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-175457

(P2002-175457A)

(43)公開日 平成14年6月21日 (2002.6.21)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 2	G 0 6 F 17/60	3 2 2 5 K 0 6 7
	1 3 0		1 3 0
	5 0 6		5 0 6
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数8 巻面 (全4頁)

(21)出願番号 特願2000-403925(P2000-403925)

(71)出願人 595116854

増野 義明

神奈川県藤沢市城南4-4-14

(22)出願日 平成12年12月6日 (2000.12.6)

(72)発明者 増野 義明

神奈川県藤沢市城南4-4-14

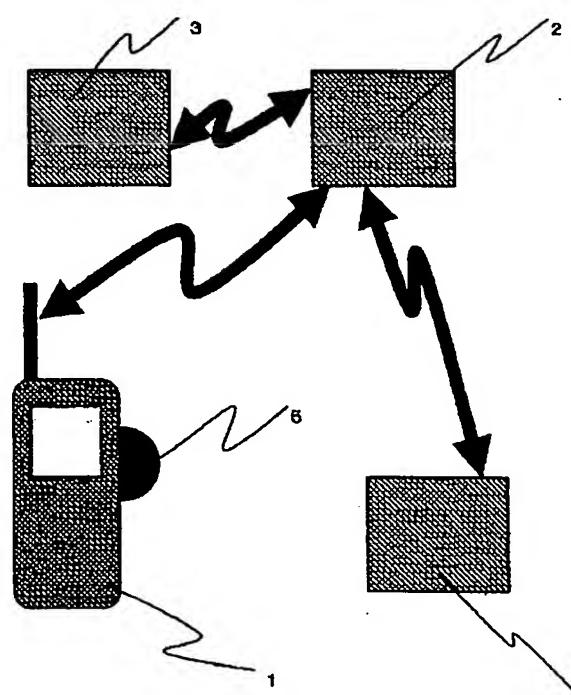
Fターム(参考) 5K067 AA34 BB04 DD20 DD52 FF02
FP23 HH17 HH22

(54)【発明の名称】 ホテル予約システム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】不慣れな土地で急にホテルを予約することに適した予約受付システムを提供する。

【解決手段】位置認識機能5を有する携帯電話1からホテル4の宿泊を予約するシステムにおいて、予約を受付ける受付窓口2が前記携帯電話から送信された位置情報を認識すること、受付窓口で認識された携帯電話の位置から最も近いホテルを推薦すること、通信費用を受付窓口が負担すること、宿泊費を電子決済すること、受付窓口が携帯電話の指定する電話番号に予約情報を転送することを特徴とするホテル予約システム。



【特許請求の範囲】

【請求項1】位置認識機能を有する携帯電話からホテルの宿泊を予約するシステムにおいて、前記予約を受付ける受付窓口が前記携帯電話から送信された位置情報を認識することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項2】請求項1のホテル予約システムにおいて、受付窓口で認識された携帯電話の位置から最も近いホテルを推薦することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項3】請求項1または2のホテル予約システムにおいて、通信費用を受付窓口が負担することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項4】請求項1から3のいずれかのホテル予約システムにおいて、宿泊費を電子決済することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項5】請求項1から4のいずれかのホテル予約システムにおいて、前記受付窓口が前記携帯電話の指定する第3の電話番号に前記予約情報を転送することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項6】請求項5のホテル予約システムにおいて前記第3の電話番号からの了解信号が無ければ前記予約を受けないことを特徴とするホテル予約システム。

【請求項7】請求項1から6のいずれかのホテル予約システムにおいて、予約を受けたホテルでは宿泊者の氏名や住所・電話番号について前記携帯電話から予約時点で電子情報として入手して宿泊者カードに記載することを特徴とするホテル予約システム。

【請求項8】請求項1から7のいずれかのホテル予約システムにおいて、携帯電話から自身の顔写真を送信することを特徴とするホテル予約システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は位置認識機能を有する携帯電話からホテルを予約するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ホテルの予約を電話で行う場合には予約客の予約時点での位置を通知しないで行っていた。電話で自身の氏名と予約を希望する日時と人数、そして宿泊費について通知および相談して予約を確定する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の方法ではまず、最寄のホテルの連絡先を探して電話をかけなければならなかった。不慣れな土地でまず自分自身の位置を把握してそこから容易に行けるホテルの当たりをつけて連絡するのは容易なことではなかった。一方、地域ごとに設けられているホテル案内センターがある土地ではその案内センターに連絡することでホテル探しの苦労は軽減される。しかしながら、自分自身の位置を把握する困難は残る。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明のホテル予約システムは、第1に位置認識機能を有する携帯電話からホテルの宿泊を予約することに加えて、前記予約を受付ける受付窓口が前記携帯電話から送信された位置情報を認識することを、第2に第1の特徴に加えて受付窓口で認識された携帯電話の位置から最も近いホテルを推薦することを、第3に、第1または第2の特徴に加えて通信費用を受付窓口が負担することを、第4に、第1から第3のいずれかの特徴に加えて宿泊費を電子決済することを、第5に、第1から第4のいずれかの特徴に加えて前記受付窓口が前記携帯電話の指定する第3の電話番号に前記予約情報を転送することを、第6に、第5の特徴に加えて前記第3の電話番号からの了解信号が無ければ前記予約を受けないことを、第7に、第1から第6のいずれかの特徴に加えて予約を受けたホテルでは宿泊者の氏名や住所・電話番号について前記携帯電話から予約時点で電子情報として入手して宿泊者カードに記載することを第8に、第1から第7のいずれかの特徴に加えて携帯電話から自身の顔写真を送信することを特徴とする。

【0005】

【作用】本発明において、位置認識機能を有する携帯電話からホテルの宿泊を予約することに加えて、前記予約を受付ける受付窓口が前記携帯電話から送信された位置情報を認識する第1の特徴を備える場合には、携帯電話が内蔵するGPS方式位置認識装置またはPHSが交信するアンテナの位置によって自身の位置を検出するローカル交信方式位置認識装置によって携帯電話保有者がその自身の位置情報を得る。不慣れな土地では前記保有者はこの位置情報を知ってもそのことで近くのホテルを瞬時に思いつくことはできない場合が多い。そこで、前記保有者はこの自身の位置情報を直接に受付窓口に送信する。この位置情報を受けた受付窓口では例えばベテランのオペレータが希望宿泊費やその他の付帯条件として部屋の広さやISDNの差込があるなどの条件を受けて交通手段も考慮してかつ空き部屋状況も把握して最適なホテルの部屋を推薦する。Iモードと呼ばれる方法に代表される携帯電話を利用したウェブ、文字情報交信といったもので予約を取る場合もあるがこの場合でも位置情報は携帯電話から自動的に送信される。第2に第1の特徴に加えて受付窓口で認識された携帯電話の位置から最も近いホテルを推薦する場合には、携帯電話の現在位置から最も近い順番に自動的にそのホテルと交信できる。この場合には携帯電話から受付窓口に前記位置情報付きでホテル予約希望の送信がなされると一度その電話回線は切られて、その後に携帯電話から近いホテルがその携帯電話に電話をかけてくる。ここで電話をかける、送信すると表現した内容は音声の場合もあればデータの場合もある。第3に、第1または第2の特徴に加えて通信費用を受付窓口が負担する場合には、受付窓口はもともとフリーダイヤルにしておく場合と一旦は有料の

公衆回線で受付けてその後に携帯電話側で指定した口座に通信費を振り込む場合とまたは宿泊したホテルの代金から通信費を差し引いた分だけホテル側から宿泊者すなわち携帯電話保有者に支払う場合がある。第4に、第1から第3のいずれかの特徴に加えて宿泊費を電子決済する場合には受付窓口はホテルの紹介と決済事務補助の両方の業務を行うことになる。この事務を受付窓口が一手に行うことでの各ホテルでは予約客が予約を直前にキャンセルした場合の損害や客が支払わずに立ち去った場合の損害に対してその信用責任を前記受付窓口に一切任せてしまふことができる。このリスク軽減によって中小のホテルでも携帯電話での突然の予約に対して部屋を気軽に提供できる。中に限らずホテル側のリスク負担が軽減するのでその分、料金の低減やサービスの向上に振り分けられる。受付窓口では上記ホテル側のメリットの一部の還元分として紹介および決済手数料を得ることができる。決済を担当する金融機関から見ても利用客の紹介を受けていることになるので受付窓口はその分の紹介手数料を要求できる。受付窓口自身がホテルチェーンを経営したり金融機関を所有して全ての営業利益をグループ内に収めることもできる。第5に、第1から第4のいずれかの特徴に加えて前記受付窓口が前記携帯電話の指定する第3の電話番号に前記予約情報を転送する場合には、前記携帯電話の保有者の信用をその第3の電話番号にかけることによって補強できる。例えばだれかが落とした携帯電話を利用して他人がホテルの予約をして宿泊しようとした場合には予め前記携帯電話にメモリされていた上記第3の電話にその時点で通報されるのでその携帯電話の位置情報とその携帯電話を悪用しようとした証拠とが瞬時に知られることになる。犯罪予防に役立つ。携帯電話を含めて複数の電話番号を提示してホテルを予約することになるので受付け窓口はより信用して予約を受付けることができる上に、前記第3の電話番号と交信している時間を稼げることになるので必要に応じて携帯電話所有者の信用調査も行える。携帯電話保有者の側からのメリットとしては、第3の電話番号を前記携帯電話保有者の所属する会社や自宅にしておくことで自身の宿泊先を自動的に会社や自宅に連絡できる。第6に、第5の特徴に加えて前記第3の電話番号からの了解信号が無ければ前記予約を受けない場合には、携帯電話を保有している相手すなわち固定位置にいない相手からの予約に対して第3の電話番号の相手に信用照会してから受付けをすることで予約の不当キャンセルや宿泊後の逃走などの損害を未然に防ぐことができる。受付側で前記第3の電話番号先を金融機関や相手の会社や自宅を指定することで前記信用照会の精度を向上させることができる。第7に、第1から第6のいずれかの特徴に加えて予約を受けたホテルでは宿泊者の氏名や住所・電話番号について前記携帯電話から予約時点で電子情報として入手して宿泊者カードに記載する場合には、チェックイン時のフロ

ント事務手続きを簡略化できフロント受付時間を短くできる。第8に、第1から第7の特徴に加えて携帯電話から自身の顔写真を送信する場合には、到着時に確実にホテル側に自分を認識してもらうことができる。

【0006】

【実施例】本発明の第一の実施例について説明する。出張先で携帯電話から今晩の宿泊ホテルを予約する場合の例である。東京在住の甲さんが大阪に日帰りのつもりで出張して商談が長引き最終の新幹線に間に合いそうもなくなつた午後9時の時点でホテルを予約しようとしている。甲さんは全国ネットのホテル予約受付システムに登録してあるので携帯電話を使ってまずそこに連絡をする。電話は東京の受付に長距離電話をすることになるがその電話料金は実際にホテルに宿泊した際にそのホテルの宿泊料金から差し引いてもらえることで結果的には無料で電話をかけていることになるので電話料金を気にしないで電話をかけられる。甲さんの電話にはGPS方式で自身の位置を認識する機能が備えられている。このGPS位置認識機能は前記ホテル予約受付システムに登録する際にそのシステムから貸与されたものである。受付に電話をすると前記位置認識機能で認識された位置情報が自動的に前記受付けに送信される。受付ではその位置からアクセスしやすいホテルの空部屋情報を調べて甲さんの携帯電話に表示する。表示する内容はホテル名、甲さんの位置からそのホテルまでの所要時間とアクセス方法、そして部屋の広さと設備と費用、朝食サービスの有無などの特筆事項である。各項目について甲さんは自分で序列ルールを設定して表示させることができる。甲さんは表示された中から1つのホテルを選んで受付に返信する。受付は前記情報を甲さんに送信してから10分間は表示した部屋について仮押さえをしてあるので10分以内に甲さんから返信があれば即、その選ばれた部屋を本予約して他の部屋はリリースしてしまう。甲さんの携帯電話には選んだホテルまでのアクセス方法詳細が表示される。電車で行く場合には時刻表と料金が表示され、タクシーを利用する場合に対してはその位置からどの方向へ向かえばタクシーを拾いやすいかの情報が表示される。

【0007】本発明の第二の実施例を図1を用いて説明

する。乙さんが自身の携帯電話1を用いてホテルの部屋を予約する場合の例である。携帯電話を介してインターネット上でホテルの受付サービスセンター2を検索して見つける。その受付サービスセンターは予約受付に際して乙さんの信用の確認のために第3の電話番号を通知するよう要求してくる。乙さんは自身が電子決済用に開設している銀行の確認受付3の電話番号を通知する。乙さんの携帯電話には前記確認受付番号がメモリーされているので実際の通知作業はボタン操作1つで行える。受付サービスセンターでは乙さんの口座の存在とその残高を確認した後にホテル4に空部屋確認をしてその結果を乙

さんの携帯電話に通知する。尚、乙さんの携帯電話1にはPHS方式の位置認識機能5が備えられている。乙さんは自身の電子決済口座を受付サービスセンターに通知することでその信用分としてホテルの宿泊代が5%割り引いてもらえる。受付サービスセンターでは宿泊料金の徴収代行をホテルに代わって行うので上記センターでは手数料5%が手に入る。

【0008】本発明の第三の実施例を説明する。携帯電話に自分の顔写真をメモリーしておいてホテルの予約時にその写真情報を使用する例である。GPS付きの携帯電話から今夜の宿泊ホテルを予約する際に受付ホテルに自身の顔写真を電子データとしてそのホテルと予め携帯電話に記憶されている指定場所に送信する。その記憶されている指定場所として自宅にしておく場合がある。こ

の場合には携帯電話の発信者が自分の家族であることを家族の他のメンバーによって容易に確認できる。ホテルでは予め顔がわかっていることでお出迎えの際に失礼の無いように応対ができる。

【0009】

【発明の効果】本発明のホテル予約システムを用いると常に携行している携帯電話を用いて不慣れな土地でも容易に宿泊ホテルを見つけることができ、かつ電子決済も行えるので余分な現金を持ち歩かなくて済んでしまう。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第二の実施例を示す構成図である。

【符号】

1は携帯電話、2は受付サービスセンター、3は確認受付、4はホテル、5は位置認識機能である。

【図1】

